

番組審議会

第704回

2026年5月18日

■ 委員の出席

委員長	音	好	宏	
副委員長	江	澤	佐知子	
委員	川喜田	尚		田中東子
	谷本	歩実		二関辰郎
	目加田	説子		
	洞口	依子		(レポート提出)
	長嶋	有		(レポート提出)

TBSテレビ	龍	宝	社長	
	合	田	専務	
	井	上	取締役	
	三	城	コンテンツ戦略局長	
	曹		情報制作局長	
	朝	倉	情報三部長	
	佐	野	チーフプロデューサー	
	藤	田	編成考査局長	
	浜	崎	カスタマーサクセス室長	
	加	来	番組審議会事務局長	

■ 議事概要

1. 審議事項

(1) 「世界遺産」

イグアス国立公園・前編

1月11日(日) 18:00～18:30放送

イグアス国立公園・後編

1月18日(日) 18:00～18:30放送

マチュピチュ歴史保護区・前編

4月 5日（日）18：00～18：30放送

マチュピチュ歴史保護区・後編

4月12日（日）18：00～18：30放送

(2) その他

2. 事務局報告事項

(1) 視聴者からの声

(2) 次回審議会の議題及び日程

【審議番組について】（「世界遺産」）

1996年4月より放送開始。今年、30周年を迎えた。

人類の共有の財産である「世界遺産」を最新鋭の機材を使い、高画質で撮影。唯一無二の「地球の記憶（記録）」としてアーカイブ化し、伝える、オールVTRによるドキュメンタリー。

審議対象回は、番組ナビゲーター鈴木亮平が長年憧れてきた南米のイグアス国立公園に初めて足を踏み入れ、世界最大級の滝・イグアスの迫力をヘリコプターや船を駆使して撮影した「イグアス国立公園」と第1回放送の撮影地でもあり、今回は特別な許可を得て空撮に成功、新たな遺跡も発見され、最新情報を交えた「マチュピチュ歴史保護区」。それぞれ2週連続スペシャルで圧巻の映像と番組独占の映像で世界遺産の全貌に迫る。

【委員の主な意見】

- 映像の凄さは言うまでも無く、30分の中にストーリーがしっかりあって、ただ画が凄いということだけではなくて、ストーリー展開も飽きさせずに見せる工夫がしっかりあると思った。
- この番組は単に絶景や歴史を紹介するだけではなくて、その景色を前にした時に人は何を感じて、どう言葉にするのか、という、人として試される、AIではない部分を非常に大切にしている、「届ける」、「伝える」、そんな番組なの

かなと改めて感じた。

- ただの旅番組ではない、明らかに、世界の遺産をカメラに収めることが肝であると、4Kなどを通じて、カメラマンが収めた、その画を存分に堪能する番組だと思った。
- TBSを代表する紀行物であり、商業放送というビジネスモデルの中でも非常に大事な仕事をされている放送枠だと認識している。
- マチュピチュ後編は、タイトルバックが出るまで番組が始まってから約3分経っている。30分番組としては前置き部分が少々長い印象を受けた。番組のクオリティを考えると少しでも本編をじっくり扱う時間に当ててもいいのではないか、という気がした。
- カメラの技術と最新機器で、圧倒的な映像美を魅せるということに重きが置かれているせいで、その映像を「ワクワクしてない、ボーっとした気持ち」で鑑賞した際、ちょっと類型的な感動のように見える。
- 画像を見て興味を持ったものに対して、その情報を、よく聞くでもよし、聞き流すでもよし、という取捨選択でさえ視聴者に委ねられている心地良さがあり、文化遺産とか自然遺産を問わないところが正にヒーリングだと思う。
- 鈴木亮平さんが俄かカメラマンになった映像を見ると、プロカメラマンの映像が如何に凄いかというのが一瞬でわかるところがとても良く、この意外なアドリブ的な演出が功を奏していた。
- イグアスの後編で、珍しい鳥を見つけて鈴木亮平さんが喜ぶシーンは、見ているこっちも一緒に嬉しくなり、ナビゲーターが現地に行く構成も成功していると思った。

- 鈴木亮平さんの声も何処か温かみというか温もりもあって、とても知性が感じられる一方で、全く嫌味が無いキャラクターが本当に素敵だな、と日頃から感じている。
- 「かけがえのない地球の記憶」というテロップで放送が始まったように、スクラップ・アンド・ビルドができない我々の共有財産であることを改めて思い起こさせる番組なので、美しい映像だけではなく、破壊され、取り返しがつかない状況になった世界遺産も取り上げてほしい、と思った。
- ふと点けていたい番組。それだけで非常に品格が感じられる、永遠に続いてほしい番組。贅沢を言うならば、季節ごとにその世界遺産が見せてくれる顔が違おうと思うので、同じ場所でも違うシーズンで撮影したバージョンを今後作成していただけたら嬉しい。
- 「世界遺産」でこれまで紹介されているものは財産なので、2次展開、3次展開、と映像のビジネス化や、様々な形での企画イベントも含めて、デザインして欲しい。

【局からの回答】

- 折角の映像をイマーシブで体験できるイベントに、という件については、30周年特別イベントとしてスタッフと共に企画検討中である。
- 世界遺産は1,248あり、この番組で撮り終えているのが700と少しなので、まだ撮っていないものを一つでも多く撮ることが本当は第一ミッションだと思っている。新しい視聴者は有名な世界遺産を見たいという要望が強いので、繰り返し撮影する場所もある。
- 見られなくなった場所や、失われつつある場所に関しては、幾つか貴重な撮影ができていない場所があるので、そのような映像もお伝えしたい。